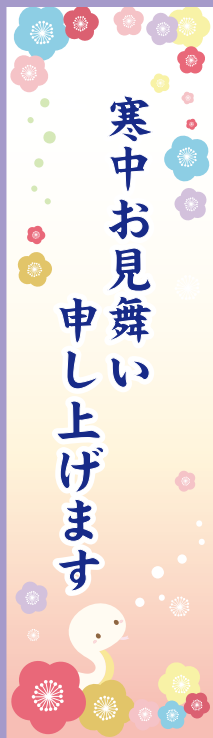




# ながい 市議会だより

令和7年2月  
(2025)  
第148号



ヤハハエ口（寺泉谷地内）



第37回長井市内小中学校児童生徒書き初め大会

## もくじ

12月定例会の概要	2
一般質問／予算特別委員会総括質疑	3
常任委員会行政視察報告	8
市民と市議会との意見交換会	9
3月定例会日程	12

発行／長井市議会 編集／ながい市議会だより編集特別委員会 TEL (0238) 87-0812 (直通)

長井市議会ホームページ <https://www.city.nagai.yamagata.jp/shigikai/>



# 12月定例会

12月定例会を11月29日から12月20日までの22日間の日程で開催しました。報告1件、一般議案3件、補正予算5件について審議を行い、最終日に追加提案された一般議案2件、予算議案6件の議案を含め、すべて原案どおり可決しました。

なお、一般質問は9名の議員、予算総括質疑は1名の委員が質問に立ち、当局の考えをただしました。

## 議案

### 消防団条例の一部を改正する条例の制定

消防団員数が減少するなか、特定の活動のみに従事する機能別消防団員制度を導入し、消防団を引退した方がその豊富な経験を生かし消防団活動をするにより、消防団の任務を的確に遂行できるようにするため、消防団条例の一部を改正するものです。

機能別消防団員は消防団長が分団長の推薦に基づき、市長の承認を得て任用します。対象となるのは基本団員として5年以上の経験を有し、分

団長が機能別消防団員として必要な能力を備えると認める70歳未満の引退した消防団員です。活動は火災時における消火活動及び支援活動、その他消防団長が特に必要と認める活動としています。



長井市消防団分列行進

### 市民文化会館条例の一部を改正する条例の制定

長井市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の趣旨を踏まえ所要の改正を行うため、市民文化会館条例の一部を改正するものです。

### 多目的研修センター設置条例の一部を改正する条例の制定

長井市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の趣旨を踏まえ所要の改正を行うため、多目的研修センター（向山荘）設置条例の一部を改正するものです。

### 主な補正予算

※1万円以下四捨五入

灯油購入助成事業663万円、老人福祉施設入所事業165万円、高齢者外出支援サービス事業136万円、子育

### 主な最終日提案議案

### 人事院勧告による職員給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告による一般職の職員及び特別職に属する者の給与に関する条例を一部改正するものです。

### お詫びと訂正

ながい市議会だより第147号（令和6年11月）において、討論の見出しに誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

### ◆訂正箇所

3ページ1段目

誤「令和5年度一般会計予算」

正「認第1号 令和5年度歳入歳出決算認定について」

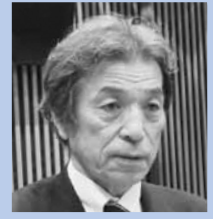


致芳児童センター

て支援医療給付事業834万円、予防接種事業965万円、新型コロナウイルスワクチン接種事業2152万円、機集積協力金交付事業1047万円、学校給食費負担軽減支援事業費補助金161万円、社会資本整備総合交付金事業（都市再生整備）3億9670万円など6億5592万円を増額補正するものです。また、自治体情報システム標準化・共通化対応事業や致芳児童センター指定管理料などの債務負担行為の補正がありました。

一般質問

市政全般について、9名の議員が質問しました



浅野 敏明

「脱炭素先行地域」を  
目指すべきでは

弁 地球温暖化対策実行計画  
答 基づく取組を推進

Q: 本市は、今年の3月にゼロカーボンシティを宣言し、脱炭素社会を目指すとしています。国は、2030年度までに少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」をつくる目標を掲げましたが、選定のハードルは高いと思いますが、本市もこの「脱炭素先行地域」を目指すべきではないですか。

A: 6年後の脱炭素化を目指す「先行地域」の取組は、実現可能性の点で課題が多いため、市としては今年3月策定の地球温暖化対策実行計画に

基づき「2030年度カーボンハーフ」を目指す考えです。

Q: スポーツ庁は、2025年度までに部活動の地域移行を目指すしていますが、本市では、地域での受け皿がない部活動が多い現状であり、移行は困難であると考えます。種目ごとの部活動指導員を配置し、移行できない部活動を存続すべきではないですか。

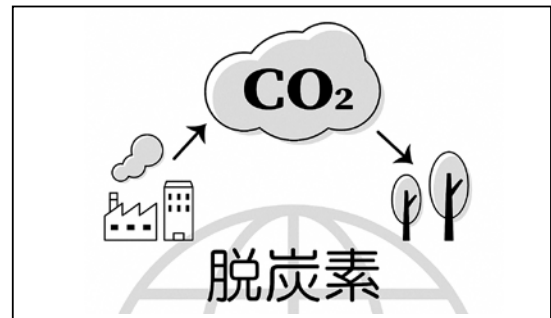
A: 2025年度までに地域移行を目指すと考えられている休日の部活動について、生徒一人ひとりの活動を支えるため、地域団体と連携し、多様な活動のあり方を模索してまいります。

Q: 本市の防犯協会中央支部の役員は地区長と兼務で、市のイベント等での警備活動が大きな負担となっています。旧態依然の防犯協会の活動を見直すべきではないですか。

A: 地域の安全を守るためには、防犯協会などの地域住民の活動が不可欠であることから、コミセンを中心に、地域コミュニティを再構築する時期に来ていると考えています。



財政課



脱炭素社会（イメージ）

単年度元利償還金総額を  
財政運営の目安に

弁 財政運営は多面的に  
答 見ることが重要



勝見英一朗

Q: いろいろな事業を行う際に起債（借入れ）をしますが、その多くで事業ごとに国が示す措置率に応じ、後年度に交付税措置（国による財政措置）が行われます。また、市の一般財源である臨時財政対策債の元利償還金相当額も、全額が後年度に20年分割で交付税措置されます。これらの措置が確かに行われているかは、決算数値などから読み取るのは困難ですが、事務上どのように算定されていますか。

A: 算定内訳は公表していませんが、起債事業ごとに国が想定した利率や借入条件によって理論上の元利償還金を計算し、措置率に応じた元利償還金相当額が一定期間、地方交付税に算入されます。なお、実際に算入された額については、地方交付税算定台帳で確認することが可能です。

Q: 財政指標の実質公債費比率について本市では、起債の際、国の許可が必要となる基準18%を超さないよう対策をとっていますが、実質公債費比率と一定程度連動性のある単年度の市債元利償還金（市債の返済金）総額についても、一つの目安となる上限を定めて財政運営してはいいかがですか。

A: 財政運営については、元利償還金の抑制のほか、公共事業の必要性や緊急性、地方財政措置（財源）の研究、情報収集、人材育成、固定費を抑制することが重要です。市債の元利償還金や市債残高だけで議論すると誤解を招くおそれがありますので、多面的に見ていく必要があります。

Q. 企業誘致が進めば、産業

を調整して排出します。

A. 50年確率で想定される1時間50・3ミリの雨量や、雨量強度曲線など、雨の降り方を考慮した「防災調整池等の技術基準」を満たす規模で設計しており、受け止めた雨水を調整して排出します。

弁 立地企業の今泉駅利用を考慮し駅周辺整備は検討

### 長井南産業団地周辺の開発計画は



内谷 邦彦

団地の近隣の開発も進むものと考えますが、民間がそれぞれの思惑で開発を進めるとなると、調和のとれた街並みというのは不可能となります。住宅地は住宅地としてまとめ、商業施設は商業施設としてまとめるような計画も必要と考えますが、行政として、長井南産業団地周辺の街並みの開発をどのように考えていますか。

A. 周辺の農地は農振除外が難しく、むやみな開発はできないと思います。団地整備に伴い、今泉駅の利便性向上を考慮し、駅の西口周辺を整備するなど検討する価値があると考えます。

Q. 長井南産業団地への誘致企業について、現段階で引き合いがある企業の数および業種など、公表できる範囲で教えてください。

A. 分譲は令和8年度からになり、現在のところ数社の企業からぜひ進出したいと打診を受けておりますが、正式なものではありませんので、公表は控えさせていただきます。



精神を安定させるお薬 (例)



長井南産業団地予定地 (水道工事中)

Q. 「困り感」を抱えながら

学校に通う子どもたちの多くは、学校生活等のサポートのため、精神を覚醒させ集中力を高めるお薬や、精神の起伏を抑え安定させるお薬を服用し通学しています。しかし、精神に作用するお薬には、強烈な食欲低下や頭痛、眠気や倦怠感などの副作用があります。このような副作用や通院等で、学校生活や学習など様々な面で不便を感じながら、「困り感」を抱えた子どもたちは通学していますが、

弁 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育活動に努力

### 「困り感」を抱える子どもたちに寄り添った教育を



渡部 秀樹

精神に作用するお薬を服用し、本来の自分でない状態にならなければ登校を認めてもらえない空気が、特別支援学級の中でさえあるのが事実です。「困り感」を抱え特別支援学級に通う子どもたちの学校生活の様子と、学習の進め方や課題について伺います。

A. 「困り感」を抱えている児童生徒の中には、お薬を処方されているお子さんもおります。お薬については用法・用量等、医療機関からの指示に従った適切な服薬が大切と考えます。お薬によっては、衝動性を抑えたり、感情の起伏を緩和したりして安全で落ち着いた生活を補助する効果もあるようです。学校では、医療や福祉などの外部機関と家庭・学校が連携して児童生徒の成長を支えていくために「個別の教育支援計画」を作成し、そのお子さんに合った個別の指導を行っております。これからも「困り感」を抱えた児童生徒一人ひとりに寄り添った教育活動が行えるように努めてまいります。

てまいります。



鈴木 一則

JR米坂線の復旧に向け費用負担の早期解決を

弁 県と関係自治体が連携し早期解決に向け検討

Q. 米坂線の復旧会議で、復旧後の運営を、上下分離方式で行う場合の自治体側の負担額の試算提示があり、沿線の首長からは、「高額で負担は厳しい」との意見が出ました。災害から復旧再開した福島県の只見線は、県が主体的に費用負担協議を進めました。米坂線も、山形県が中心となり運営負担を早期に解決し再開を目指すべきではないですか。

A. JR東日本から示された上下分離方式の自治体負担額は、現在の山形鉄道への支援額と比較し大変大きく相当な地域負担となります。只見線の復旧方法を参考に両県主体で進めつつ、沿線市町でもしっかりと協議し、費用負担については置賜3市5町全体で協力していくよう検討します。

Q. 米坂線は、JR新潟支社管理と仙台支社管理の部分があります。新潟側は山間地で橋梁やトンネル等工作物が多く、平地の路線より経費負担が大きく、運営方法の一つとされた地域事業者による運営は相当難しいと考えますがどうですか。また、米坂線は日本海と太平洋を結ぶ重要な動脈路線であることから、国が復旧費と運営費も負担すべきとの運動が必要ではないですか。



移転・整備が求められる老人福祉センター



復旧が待たれる米坂線

Q. 社会福祉協議会がある老人福祉センターは、水害時や駐車場の問題、また、施設の老朽化等多くの課題があります。例えば「くるんと」の南にある民間の土地に移転し、健康づくりや食事のできる多目的施設も含めて整備することも考えられますが、民間の土地であることから、官民連携による取組が大切です。次期公共施設整備計画において早期に取り組むべきではないですか。

A. 社会福祉協議会、老人福祉センターの移転・整備について、今後の財政運営を踏まえ、民間を含めた関係機関と具体的に情報交換をしながら、次期公共施設等整備計画を検討していきます。



金子 豊美

官民連携によるまちづくりを進めるべき

弁 民間を含めた関係機関と情報交換していく

Q. 長井市コミュニティ協議会が組織され、職員の待遇改善や車両の配置等が行われましたが、以前に比べ職員の業務が増加し、時間外勤務など負担が増えているのではと心配されますがどうですか。

**Q:** 第4回米坂線復旧検討会議が開催され、JR東日本が、復旧後に上下分離方式を採用した場合の自治体側の負担額を17億円と試算しました。吉村知事は、財源確保が大きな問題とし、関係自治体と具体的な協議を進め、国に財政支援を求める考えを示しました。本市としても、自治体間の協議や県と関係団体と協力し、県選出の国会議員にも働きかけ、国への財政支援を求めることが基本だと思います。今後どう進展させますか。

**弁 答**  
国の財政支援は不可欠であり力を尽くす

**米坂線復旧の国支援をどう進展させていくのか**



今泉 春江

**A:** 米坂線は、あらゆる分野で必要とされている貴重な路線であり、日常利用はもとより、災害時のリダンダンシー機能として重要な役割を果たしており、必要不可欠な存在と考えています。示された負担額は、地元だけで負担するのは大変困難ですので、国の財政支援は不可欠と考えます。沿線、置賜3市5町で話し合いをしながら前に進めていくよう力を尽くしてまいります。

**Q:** 中央コミュニティセンターの市民体育館の雨漏りが長年続いており、利用者に不便をかけています。市民体育館は、多くの市民が利用する重要な施設です。緊急に体育館の雨漏りや照明などの改修が必要で、施設の改修も含め、今後の改修計画を伺います。



高齢者が集う豊田ミニデイ



米坂線代行バス (今泉一坂町間)

**Q:** 会員数の減少などの課題がある老人クラブですが、地域コミュニティを維持するうえで、極めて重要なコミュニティです。高齢化が進む中、地域づくりの担い手、健康づくりの実行などの役割が期待されています。老人クラブの活動促進に向けてどう取り組めますか。

**弁 答**  
地域の担い手としての活動も支援していく

**老人クラブの活動促進の取組は**



竹田 陽一

**A:** 市では老人クラブの活動運営経費を一部助成し、大会や研修会への市職員派遣などを行っています。また、老人クラブに地域の担い手として

**Q:** 登下校には、交通事故や犯罪被害などのリスクが潜んでいます。道路や交通状況は変化していることから、通学路の安全を確保するため、通学路安全点検の充実を図るべきと考えますがいかがですか。

**A:** 現在市内の全小学校において毎年、道路管理者、警察署、交通安全協会、市担当課、教育委員会、学校等による通学路合同安全点検を行っています。今後も、安全安心を最優先に考え続けてまいります。

**Q:** 社会問題となっているカスターハラメント(カスハラ)が、自治体にも及んでいる懸念があります。職員を守り、住民サービスを維持するため、カスハラにどう対応しますか。

**A:** 案件によっては弁護士と法的対応を含めた必要な措置を講じます。また、職員に対しては、産業医との面談等によりケアしながら、研修を重ねて対応力の向上も図ります。



鈴木 英則

### 公園や屋外観光施設の トイレの洋式化計画は

**弁 答**  
国の補助金等の財源を  
探り今後洋式化を検討

**Q:** 社会的にトイレの洋式化が進んでいる中、本市の公園や屋外観光施設のトイレに関してはまだ進んでいないようです。今後、洋式化の計画はあるのですか。高齢者からは、洋式でないで使用するのが難しいとの声があります。

**A:** 当課で管理している公園等の屋外トイレは、和式18基、洋式20基設置されており、利用頻度の高いところから洋式化を進めています。今後も財源を探り洋式化を検討してまいります。

**Q:** 月曜日の振替休日は、ごみの収集が行われないため、利用者は屋内でのごみの保管に苦労しています。幼児や老人のいる世帯では、紙おむつが多いことから、月曜日の振替休日もごみの収集を行うか、せめて翌日に収集するようにできないでしょうか。

**A:** 振替休日は長井クリーンセンターがごみの受入れをしておらず、また、翌日は通常の収集があるため、対応は難しい状況です。休日等の一部で収集を実施するなどしておりますのでご理解ください。

**Q:** 私有地で樹木を有している高齢者世帯では、個人での伐採は難しいことから、業者に伐採を委託する費用の出費に困窮している状況です。市として樹木伐採費用の助成を検討してはいかがでしょうか。

**A:** 私有地樹木の伐採について、市の助成制度は考えておりません。解決方法については、まずは、民生委員・児童委員や、地区長、また、市の相談窓口などにご相談いただきたいと思います。



洋式化されていない屋外トイレ

## 予算特別委員会

### 総括質疑

「自治体情報システム標準化・共通化」対応事業について

**梅津善之委員** 国が義務付けたこの情報システム導入の目的を伺います。

**総務参事** 地方公共団体情報システムの標準化に関する法

律を根拠として実施するものです。今後の人口減少に対し、持続可能な行政運営を確立していくためと認識しています。  
**委員** 導入した場合、運用経費はどうなりますか。

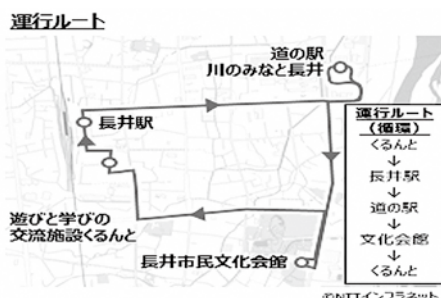
**総務参事** 運用経費は年間でおよそ1億6千万円、今の費用の約3倍になる見込みです。

**委員** 人的、財政的な負担軽減を図るために努力して導入するにも関わらず、結果的にそうではない実情をどう考えていますか。

**市長** 実際のところ非常に困惑しています。経費が増大することに關しては、国の責任においてきちんと対応していただくよう声を上げていきますが、総務省が自治体と連携を図りながら行う人口減少に対する国家的なプロジェクトとして捉え、対応していきたいと考えています。



## 自動運転バスの実証運行に試乗しました！



厚生常任委員会行政視察

令和6年10月21日、23日

北海道千歳市、小樽市

千歳市では、スポーツ団体が2日以上千歳市の旅館・ホテル等の宿泊施設に宿泊する際に、体育施設使用料を減免する制度があり、行政が中心となり誘致活動やピアーアル活動をしています。特に、陸上の実業団や大学のチームなど、多くの団体が利用することにより、関係人口・交流人口の創出や地域の経済にも大きな効果が出ています。本市においても、陸上競技場や体育館等の同様な施設があり、大変参考になりました。

小樽市では、ケアラー支援の取組について視察してきました。普及啓発等の取組では、ケアラーについてのリーフレットを作成し、町会・小中学校・高校・関係機関に配布を行い、教員向けの研修や市職員向けの研修を実施されました。

また、子育て短期支援事業



(シヨートステイ)については、保護者が疾病等によって養育が一次的に困難となった場合に、児童を児童養護施設や里親等において一時的に養育することで、児童及び家庭の福祉の向上を図ることを目的としています。本市においては、このような事象は起きてはいませんが、子育て支援の一環として考えていかなければならないと感じました。

常任委員会行政視察報告

市政の発展や行政の適正な運営のため、特徴のある事例を学ぶことを目的とし、各常任委員会が先進地を視察しました。

産業・建設常任委員会行政視察

令和6年10月27日、29日

愛媛県今治市、広島県尾道市

今治市では、1988年の「食料の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」を受け、有機農業の振興、地産地消の推進、食育の推進に取り組んでいました。

学校給食への地元食材の使用については、単独調理場への切換えを契機に、地元産を優先的に使用し、現在は今治産の野菜が50%を占めるようになっていきます。食の安全・安心へのこだわりをとっても強く感じました。同じく今治市に民設・民営で2023年にオープンしたサッカー専用のアシックス里山スタジアムを視察しました。2030年に目指す姿まで描かれており、地方都市の里山にコミュニティを創り、段階整備を視野に、投資を最小限に抑えているとのことでした。

今年、FC今治はJ2昇格が決まりました。今後益々の



活躍を期待したいと思います。尾道市では、おのみちサテライトオフィス誘致事業について視察しました。公共施設の遊休スペースをリノベーションした施設を見せていただきました。移住・定住コンシェルジュが在籍し、地域の情報発信、地元の方や事業者との交流促進も役割として担っています。

本市でも移住・定住につながるような、若い人達への新規創業支援の充実が必要だと感じました。



ご質問、ご意見にこたえます

# 第10回市民と市議会との意見交換会

～さらなる市民参加と開かれた議会を目指して～

10月31日から11月8日にかけて第10回市民と市議会との意見交換会を開催しました。

市議会では議会の活性化と情報公開に向けて活動しております。このたびの意見交換会では本市の財政やまちづくりなどを中心に、説明や報告をさせていただきました。市民の皆さんからは、暮らしの課題や要望、ご意見を数多くいただき感謝申し上げます。

## 1. 開催状況

対象地区	会場	開催日	班	参加人数
西根地区	西根コミュニティセンター	10月31日(木)	3班	17人
豊田地区	豊田コミュニティセンター	10月31日(木)	1班	18人
中央地区	中央コミュニティセンター	11月1日(金)	2班	10人
致芳地区	致芳コミュニティセンター	11月5日(火)	3班	9人
平野地区	平野コミュニティセンター	11月6日(水)	1班	17人
伊佐沢地区	伊佐沢コミュニティセンター	11月8日(金)	2班	7人

班	担当議員
1班	◎今泉春江 平進介 竹田陽一 鈴木一則 平井直之
2班	◎金子豊美 梅津善之 内谷邦彦 鈴木裕 鈴木英則
3班	◎勝見英一朗 浅野敏明 渡部秀樹 渡部正之 鈴木悟司

◎は班代表者。議長(鈴木富美子)は全ての班を統括する。

## 2. 意見・要望等(概要)

意見・提言・要望・質問等	回答
意見交換会に若い人の参加が少ない。また、PTA総会などに合わせた開催や休日の日中の開催などを検討してほしい	若い方の参加は少ないのが現状ですが、高校生との意見交換会を実施し、大変勉強になりました。今後も若い人との意見交換会ができるよう検討していきたいと思います。
議会報告を盛んにすれば、市民との信頼関係ができるのではないかと	分野別の意見交換会もありますので議会内でも話題にします。また、議員は個々に活動していますので、例えば各公民館やミニデイ等でお話をさせていただけるのであればいつでもお声がけください。
議員定数についてどのように考えているのか。議員定数は奇数の方が良いと思うのだが	ワーキンググループを組織し意見交換会などを行ってきましたが、議員間の共通理解までは至っていません。また、地元高校生を招いての話し合いなどもしています。また、議員定数については審査会に関わる様々な規定等もあります。今後も研究会のような形で取り組んでいきます。
会派というのは派閥のようなものかまた、会派が変わることはあるのか	本市議会の会派は2人以上で結成することができ、同じような考えの議員で結成し勉強会をしています。会派の所属や名称が変わることもあります。また、3月定例会では会派代表者質問の機会があります。
かつてのように財政再建団体になってしまうのか心配している。財政の見通しはどのようになっているのか。また、実質公債費比率が今後伸びていくようだが、その要因は	将来負担比率は現在256.1%ですが、大きな公共事業をしなければ令和5年度を最高値として令和6年度以降は下がっていくというような状況です。実質公債費比率については現在13.2%で、最も高くなるのは令和10年度の17.4%という見込みです。元利償還金の猶予期間はありますが、公共施設の整備に係る起債の償還が始まっており徐々に高くなっていますので、議会として18%を超えないよう注視していきます。
令和2年の豪雨時に避難所が閉鎖される前に市の災害対策本部が解散されたが、避難所の閉鎖前に本部が解散されるのはおかしいと思うが	災害対策本部の設置・解散については、長井市防災計画で必ずしも避難所の開設の有無が要件とはなっていません。また、災害対策本部が解散された場合でも、引き続き災害対応が必要な場合は、災害対策連絡本部等で必要な対応を行っています。

意見・提言・要望・質問等	回 答
<p>昨年も話をしたが森地区の<b>指定避難所</b>は長井北中だが、豪雨時に長井橋を渡ることになる。最上川の右岸に避難所を設けることはできないのか</p>	<p>森地区内の避難所は、東五十川公民館ですが、水害時は浸水想定区域内であるため利用できませんし、新たな避難所の設置を行うことは困難です。市からの防災情報等を活用し、危険が迫る前に避難をお願いします。なお、避難が困難な場合は、2階以上の部屋に避難するなど命を守る行動をお願いします。</p>
<p><b>避難所</b>に指定されているコミュニティセンターの多目的ホールなどへのエアコンの整備について検討して欲しい</p>	<p>市の単独での事業では難しいため国の補助金などを活用し、整備していくとの説明を受けています。</p>
<p><b>自動運転バス</b>が雪道や吹雪の状態では走れなくなるのではないかと心配だ</p>	<p>緊急事態のために保安員を置くようですが、最終的にどのような形で安全性を確保するのかという具体的なところは聞いていません。安全性の確保が重要なので、検証も含め実証運行を行っていきます。</p>
<p>地区にコンビニも無く、買い物に<b>市営バス</b>は不便。また夜、救急車で公立置賜総合病院に行くタクシーしか帰宅方法が無いので市で補助出来ないのか</p>	<p>コンビニについては近隣自治体のように公設民営で実施できるかが課題です。デマンド交通について、森・五十川地区で実証運行をしており、市民要望が多ければそちらにシフトするかもしれませんが、市営バスについてはもう少し様子を見てください。</p>
<p>学校として強盗事件時の緊急対応はしているのか。<b>複式学級</b>についてどう思うか。学校へ地域でサポートする必要があると聞いているが。小学校体育館の雨漏りの対応はまだなのか</p>	<p>児童生徒を守るために緊急な対応を都度行っています。伊佐沢小学校の複式学級については、英語教育などや学区外からの児童を受け入れる特認校として意欲的に取り組んでいるので見守って欲しいと思います。コミュニティ・スクールなどの授業では地域の方々にお手伝いいただいています。体育館については修繕済です。</p>
<p>市に<b>带状疱疹ワクチン</b>接種の補助制度はあるか</p>	<p>本市では带状疱疹ワクチン接種の補助制度はありません。補助制度については他自治体の状況を見ながらの判断になると思います。</p>
<p>公立置賜長井病院への患者移送を正面玄関ではない入り口からできないか。また、会計の時間がかかりすぎる</p>	<p>置賜広域病院企業団に本市からも議員が行っているのので、そこで要望をしていきたいと思います。</p>
<p>公共施設の耐震化対策の進捗はどこまで行っているのか</p>	<p>学校関係の耐震化は終了しました。改修が必要な施設は、コミュニティセンター、置賜生涯学習プラザなどがあります。</p>
<p><b>宅地開発</b>についてなぜ成田のこの場所を選んだのか。宅地開発事業が南北でアンバランスに感じているが農業振興地域で宅地開発はできないのか</p>	<p>用地選定については宅地開発の検討委員会で議論しましたし、地域からの要望もありました。また、本市では北学区と南学区の範囲内でバランスをとって開発場所を決めています。農業振興地域での宅地開発は難しいです。</p>
<p>長井南産業団地への入居予定の企業はあるのか。精密機械メーカーなどを誘致できないか</p>	<p>どこの企業が来るのかについては発表されていません。また、企業誘致について、本市出身の方にご協力いただいています。</p>
<p>河川愛護の刈払いは高齢化が進みボランティア活動の限界を超えている。危険な斜面の刈払いもある。刈らないと改良区からのクレームも入る</p>	<p>県ではボランティアで除草しなくても良いとのスタンスでした。できる範囲での実施、もしくは実施しない方向での検討をすることも必要だと思います。また、河川愛護活動の話をする場に建設課も同席していただき現状を把握してもらうことも必要だと思います。</p>

※いただいた意見等を要約し掲載していますが、上記以外の意見・提言・要望・質問等は11ページに項目ごとまとめて掲載しています。また、長井市議会ホームページでも詳細をご覧ください。



会場の状況 (西根コミュニティセンター)



会場の状況 (豊田コミュニティセンター)

第10回 市民と市議会との意見交換会

意見・提言・要望・質問等の概要一覧

◆財政について

- ・ 公共施設整備による財政への不安があるが（平）
- ・ 財政計画とインフラ整備の関係性は（豊）

◆公共交通について

- ・ 県外からの自動車学校生に長井線の切符手配を（中）
- ・ 土日に道照寺平スキー場までの市営バス運行を（平）
- ・ 市営バスの利用者について議会に報告は（平）
- ・ 市営バスの利用料金は安いが使づらい（平・伊）
- ・ デマンド交通の実証運行等は（平・豊）
- ・ 市営バスの採算は（豊）
- ・ 自動運転バスの燃料は（豊）
- ・ 自動運転バスの導入と安全性は（豊）

◆防災について

- ・ 一次指定避難所の屋根の雨漏り修繕を（西）
- ・ 屋外拡声装置は災害時や訓練時以外でも活用を（西）
- ・ 浸水しやすい施設を避難所になっている理由は（致）
- ・ 指定避難所が無い地区へ整備の検討を（致）
- ・ 指定避難所ケミコン体育館の収容人数は（中）
- ・ 長井工業高校及び長井高校の避難所指定は（中）
- ・ 豪雨対策として街中の水路の浚渫等の検討を（中）
- ・ 自主防災組織には防災士が必要では（平）
- ・ 豪雨時の近隣自治体との情報交換等は（豊）
- ・ 災害発生時の自己防衛意識向上の支援を（豊）

◆公共施設整備等について

- ・ くるんとの利用料金の検討を（西・平・豊）
- ・ 市民文化会館に市民ギャラリーを（平）
- ・ 体育施設の整備、修繕を（平）
- ・ くるんとのボールプールのボールの洗浄は（平）
- ・ くるんとのイベント情報の周知方法は（豊）
- ・ くるんとの経済効果は（豊）

◆市民福祉について

- ・ 生活保護世帯へのエアコン設置支援の考え方は（平）
- ・ コミュニティセンターでの百歳体操に健康ポイント付与を（豊）
- ・ 百歳体操のボランティアに手当の支給を（伊）

◆まちづくりについて

- ・ 中央地区中心街のまちづくりの検討を（中）
- ・ 協同薬品工業跡地開発の検討を（中）
- ・ 観光資源の整備によるまちづくりを（豊）

◆宅地開発・移住定住対策について

- ・ 宅地が完売しているがなぜ人口が減少しているのか（平）
- ・ 宅地購入者の傾向は（西・豊）
- ・ 移住世帯への補助を（豊）

◆タスについて

- ・ 経営状況について確認しているのか（中）
- ・ 客室のWi-Fiが弱いのだが（伊）

◆新産業団地と企業誘致について

- ・ 南エリアばかり発展している（西）
- ・ 現段階での誘致企業の決定は（中）

◆その他

- ・ 予算総括質疑での質問内容に制限があるのか（西）
- ・ イノシシが増え被害も増加している（致）
- ・ 道路の陥没が夕方まで修繕されていた（致）
- ・ 消雪道路で水が出ない所と出過ぎる所があるが（致）
- ・ 高齢化社会を迎え市報などの配布方法の検討を（中）
- ・ 第六次総合計画の配布を（平）
- ・ コンパクトシティの狙いと検証は（平）
- ・ 上下水道施設の老朽化対策と耐震化改修は（豊）
- ・ ふるさと納税の現状は（豊）
- ・ 交流人口優先か定住人口優先か（豊）



会場の状況（中央コミュニティセンター）



会場の状況（致芳コミュニティセンター）



会場の状況（平野コミュニティセンター）



会場の状況（伊佐沢コミュニティセンター）

**年頭に寄せて**

議長 鈴木富美子



市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新年おめでとございます。昨年を記念し、様々な事業が開催されました。多くの市民の皆様と一緒に祝いましたこと、大変うれしく思います。これを機に子供たちの未来に、市民の輪、国際交流の輪が広がることを期待したいと思います。已年は「実を結ぶ」年と言われています。これまでの頑張りが実を結び、新年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたします。

**次回 3月定例会の予定**

日	月	火	水	木	金	土
2月9	10	11	12	13	14	15
			全員協議会	総務	文教	
				常任委員会協議会		
16	17	18	19	20	21	22
	厚生	産業・建設	常任委員長会	招集告示		
	常任委員会協議会					
23	24	25	26	27	28	3月1
		議会運営委員会		本会議(開会)	予算特別委員会	
2	3	4	5	6	7	8
		本会議(補正予算表決)(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	総務	
					常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
	文教	厚生	産業・建設	予算		
	常任委員会			特別委員会		
16	17	18	19	20	21	22
	予算		予算			
	特別委員会		特別委員会			
23	24	25	26	27	28	29
	本会議(表決・閉会)					

◎請願の提出期限は、2月6日(木)の予定です。

◎正式な日程や質問内容などを、市議会のホームページでお知らせしています。



[長井市議会ホームページ](#)

[長井市議会](#)

検索

**議会運営委員会行政視察**

**三重県伊賀市、兵庫県丹波篠山市**  
(令和7年1月14日～16日)

伊賀市では、議会改革の取組状況、議会活性化の成果と課題、議会報告会の実施状況等について、丹波篠山市では、議会運営の効率化や通年議会について話を伺い、活発な意見交換をしました。



◀伊賀市



丹波篠山市▶

**編集後記**

本年も庭に降り積もった雪を横目に、本誌の紙面を編集しながら、新年を迎えさせていただきました。膝と腰に負担のかかる朝晩の雪かきは、まだまだ続きそうな気配がしますが「もう一息、あと少し」と自分を励ましながら頑張ります。

市議会だより編集特別委員会では、市議会の動向や活動をより分かりやすく、より身近に、そして、多くの方々に興味をもってもらえるような紙面づくりに努めてまいります。今後ともお手に取りお読みいただければ幸いです。(H・W)

**ながい市議会だより**  
**編集特別委員会**



◎渡部秀樹 ○渡部正之  
平井直之 鈴木悟司  
鈴木英則 竹田陽一  
(◎委員長 ○副委員長)

この議会だよりは、議員の自主編集により発行しています。